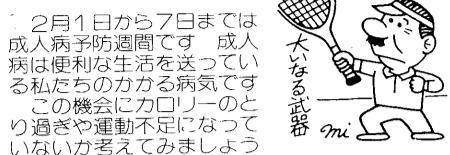


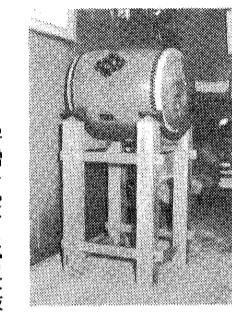
みんなの市民憲章

成人病予防週間



2月1日から7日までは成人病予防週間です。成人病は便利な生活を送っている私たちの力がある病気です。この機会に力をつけてこの通り過ぎや運動不足にならないか考えてみましょう。

このたび、市民のかたから太鼓とブロンズ像をご寄贈いただきました。
宮太鼓は西村清史氏（茶屋之町在住）から、市制四十周年を記念して寄贈していただいたものです。台付きでケヤキづくり、直徑約五十センチメートルあり、今後、祭や運動会などに使用する予定です。一方、ブロンズ像は「風」と題



宮太鼓・ブロンズ像をご寄贈

このたび、市民のかたから、太鼓とブロンズ像をご寄贈いただきました。

宮太鼓は西村清史氏（茶屋之町在住）から、市制四十周年を記念して寄贈していただいたものです。



寄贈を受けた宮太鼓（上）とブロンズ像（下）

広報あじゆ

昭和55年 2月5日 第411号

発行所 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可 (定価24円)

芦屋市の人口と面積

—55年1月1日推計人口—

人口総数 79,339 世帯数 24,968
男 38,075 女 41,264 面積 17.31km²
市役所の電話 31局2121番

住みごこちよさ

前回を上まわる

世論調査 中間報告

世論調査は、市民が日常生活の中で市政に対してどのような意見や要望を持つておられるのか直接お聞きし、今後の市政運営の参考にさせていたいだくために実施したもので、いわば、市民の意識

調査ともいいうべきものです。今回の調査は、芦屋への関心度、コミュニティ活動、教育、福祉、年金、保健、衛生、交通対策等、三十七項目にわたる質問を設定しました。調査の対象は、住民基本台帳に登載されている二万四千八百四十九世帯から無作為に抽出した二千五百九十三世帯について

昨年十一月に郵送方式で行なったものです。全体

今後も芦屋市に住み続けたい

八十四パーセント

芦屋への関心については、永住希望では、これからも本市に住み続けたいと答えたかたが八十四パ

コミュニティ活動に参加・協力したい

施設について尋ねました。永住希望では、これからも本市に住み続けたいと答えたかたが八十四パ

七十二パーセント

施設について尋ねました。永住希望では、これからも本市に住み続けたいと答えたかたが八十四パ

五十七パーセント

セントもあり、本市の住環境のよさを示しています。左のグラフは、

七十一・二パーセント

自宅周辺の環境についてお尋ね

六十八・五パーセント

を示しています。左のグラフは、

五十七・七パーセント

自宅周辺の環境についてお尋ね

五十五・四パーセント

を示しています。左のグラフは、

五十二・九パーセント

を示しています。左のグラフは、

五十一・七パーセント

を示しています。左のグラフは、

四十九・二パーセント

を示しています。左のグラフは、

四十六・一パーセント

を示しています。左のグラフは、

四十二・六パーセント

を示しています。左のグラフは、

の回収率は五十三・〇パーセントでした。市民の

市政に対する関心の高さを如実に表わしています。

世論調査は、市民が日常生活の中で市政に対し、接お聞きし、今後の市政運営の参考にさせていたいだくために実施したもので、いわば、市民の意識

健康づくりにかける意

本号では、電算機集計により現在までにまとま

った集計内容をとり急ぎ中間報告としてお知らせ

します。なお、今後も引き続いて各設問に対する

詳細な分析を行ない市民意識の動向を的確には握

して今後の市政に反映すると同時に、総合計画の

見直しの資料として活用していきたいと考えてい

ます。

の回収率は五十三・〇パーセントでした。市民の

市政に対する関心の高さを如実に表わしています。

希望される施設では、運動がで

きる施設が一番多く、つづいて自

転車置場、公益灯、公園となつて

います。

の回数を減らして実施

せよと答えたかたが、二十四・二

パーセントありました。害虫駆除

のためには、多くのかたが、粉剤

散布布では、今までどおり続

けることとの希望が五十六・五

パーセント、回数を減らして実施

せよと答えたかたが、二十四・二

パーセントありました。害虫駆除

のためには、多くのかたが、粉剤

散布布では、今までどおり続

けることとの希望が五十六・五

パーセント、回数を減らして実

財政事情の公表

市は、このほど「財政事情」の作成および公表に関する条例の定めるところにより、昭和五十四年四月から十二月までの財政事情を公表しました。各会計予算現計および執行状況は左表のとおりです。

昭和五十四年度は、芦屋浜シーサイドタウンに新しい市民を迎え、「市民みんなの連帯と創造による住みよい都市」を基本目標に、財源を重点的・効率的に配分して、市民福祉の向上をめざして、事業の推進を図っています。

主な新規事業、投資的事業	出の均衡と財政構造の改善に努めてい す。なお、本年度の主な新規事業、投 資的事業は左表のとおりです。
婦人の健康づくり事業	
母子世帯医療助成事業	
コミュニティ・スクール事業	
小槌幼稚園の増築事業	
消防自動車購入	
地区公園整備事業	
国鉄周辺再開発事業	
春日土地区画整理事業	
交通安全対策整備事業	
廃棄物運搬用パイプライン事業	
健康センター医療器具購入	

◆盲人のかたは声のお知らせ
—あし笛グループの活動—

広報あしやをカセットテープに録音して、
のかたがたに「声の広報」としてお知らせし
られるグループがあります。それは、昭和五
十月に創られた「あし笛」
のグループです。

現在、このグループは、

県の月光奉事員養成講座と

昭和54年度各会計予算現計および執行状況				昭和54年12月31日現在(単位千円)		
会計区分	当初予算額	現計予算額	収入済額①	支出済額②	差引③-④	
一般会計 (同繰越事業)	15,100,000 571,700	15,863,619 571,700	9,895,568 515,340	8,947,427 506,234	948,149,100	
特 别 会 計	国民健康保険事業 下水道事業 (同繰越事業)	1,791,000 2,549,000 68,170	1,791,000 2,600,000 68,170	1,067,416 880,097 68,170	1,024,036 1,357,141 66,218	43,380 △ 477,044 1,952
会 計	北部地区画整理事業 (同繰越事業)	59,000 11,000	59,000 11,000	14,190 0	28,776 0	△ 14,580 0
財 産 区	公共用地取得費 交通災害共済事業	794,000 11,500	794,000 11,500	59,097 11,306	458,773 3,345	△ 399,676 7,962
	小 計	5,283,670	5,334,670	2,100,276	2,938,289	△ 838,013
財 産 区	打出芦屋財産区共有財産 三条津知財産区共有財産	14,000. 2,000	14,000 2,000	14,579 3,461	2,397 112	12,182 3,349
	総 計	20,971,370	21,785,989	12,529,224	12,394,459	134,765

新一年生留守家庭 児童会の入籍受付

【校章】(デザイン: 南垣博)

預託【金銭口座】▼社会福利のため、五千円、市民K▽同二万八百円、ビューティーサロン・エレガンス▼その他、七口分、六万六

「お知らせ
トープの活動」

は既に二百三十六本余りに達し、多くの盲人の
かたに愛聴されています。声の広報は紙面を分け
て受け持つたり、話のポケットでは家庭面担当、
政治面担当、社会面担当などメンバーが得意のジ
ャンルを受け持つておられます。

このほか新笛では、月二回老人いこいの家を
訪問して対面朗読も行なつておられ、いこいの家を利
用されるお年寄りの楽しみの一つにもなっています。

トープは盲人に限つて貸し出され、メンバーのか
たによつて盲人宅まで配達・受取りのサービスを
しておられます。多くの利用があるほど録音にも
熱が入り、良い作品ができるとハリキツておられ
ますのでぜひご利用ください。トープの申込

海技大学校の学生
て盲人のかたのた
れます。声の広
読みの月刊録音誌
録音した「ライプ

第五回定例市議会報告書

第五回定例市議会は十二月十五日から二十六日までの会期十二日間で開かれました。結果は、次の

十三年度芦屋市病院事業会計決算の認定について」は、付託委員会の報告どおり認定。

議案第52号「芦屋市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について」人事院の給与勧告等

参考として、一般職の職員の給与を改定するもの（可決）

議案第53号「芦屋市職員の退職年金および退職一時金に関する条例等の一部改正について」（恩給法の改正に伴い、同法に準じて定めている本市の退職年金について、その増額改定等をする必要があるため改正するもの（可決））

議案第54号「芦屋市国民健康保険条例の一部改正について」（国庫補助基準額の改正に伴い、助産費支給額を増額改定するもの（可

議案第55号「昭和五十四年度芦屋市一般会計補正予算（第3号）」（主として職員の給与改定に伴うもので、五千四百三十六万五千円の追加（可決））

議案第56号「昭和五十四年度芦屋市下水道事業特別会計補正予算（第1号）」（可決）

議案第58号「昭和五十四年度芦屋市水道事業会計補正予算（第2号）」（可決）

議案第59号「昭和五十四年度芦

議案第55号「昭和五十三年度芦屋市各会計決算の認定について」
○決算特別委員会を設置して付託

留守家庭児童会といふのは両親が働いている、商売をしていて子どものことがみられない、お父さん、お母さんのどちらかがいない、このような子どもたちが学校が終つてから夕方五時頃までみんなと一緒に過ごす学級のことです。
申込み期間：三月十日（月）～三月十六日（日）、月～金は午前九時～午後五時（ただし十二時）十二時四十五分まで休けい）、土曜日は午前九時～正午

申込み・問合せ：市教育委員会
社会教育課（川西町十五一三市立青少年センター内 **☎ ⑧ 8229**）
入級申込みは電話では受付できませんので直接おこしください。

は、校歌 時 昨年四 中学校見受付しま
らされたか
が終つて

月開校した潮見中学校
の二、三年生も同時に
校章を検討していく
と校歌と校章で
から連絡します。

この協力ありがとう
歳末愛の持寄りへ
四百二十五万円

昭和五十四年度歳末愛の持寄
運動は、皆さまがたの暖かいこ
ろいろと、礼儀を正してわざわざ
純潔であることをなどです。小学校
1年生から3年生までを「ラウ
ニー」と申しますが、彼女たちに
このあきての内容は、また、充分
理解しない部分もあるようですが、

動へ入れさせていただきました。
払い出し【技術口座】奇術の奉
仕二件、朝日ヶ丘町子供会、東京
屋町子供会へ。

市社会福祉協議会へのご寄付

▽一万円、向井章雄▽十万円、田
中千代服飾専門学校

青少年の健やかな

成長をねがつて



